

第 44 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル（障害選手権）

実施要項

1. 競技日程

令和 8 年 3 月 21 日(土)～22 日(日)

2. 開催場所

JRA馬事公苑（東京都世田谷区上用賀2-1-1）

3. 競技種目

障害飛越競技（高さ 予選 80 cm 、準決勝 90cm 決勝 100cm まで）

4. 出場資格

日本社会人団体馬術連盟 馬術技能資格 AまたはBグレードに認定され、当年度に登録されている者

5. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害馬術競技会規程の最新版及び日本馬術連盟競技会規程の最新版を採用する。2反抗失権とし、基準タイム及び早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行う。ただし、馬匹の故障が選手に起因すると思われる場合には、当該選手の再走行を認めない場合がある。

(1) 予選

選手を、1 ブロック最大 4 名からなる最大 6 ブロックに分け、各ブロックに 2 頭の馬匹を割り当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、2 鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位 1 名が準決勝へ進出する。

(2) 準決勝

選手を、1 ブロック最大 3 名からなる 2 ブロックに分け、各ブロックに 2 頭の馬匹を割り当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、2 鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位 2 名が決勝へ進出する。

(3) 決勝戦は 4 名がそれぞれ 2 頭の馬匹に騎乗し、2 鞍の総合成績によって勝敗を決する。

6. 順位の決定方法

(1) 選手の騎乗成績の合計により各ブロック内の順位を決定する。

(2) 予選における各ブロック内の順位は、次の者を上位とする。

- ア 減点の少ない者
 - イ 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない者
 - ウ イで決まらない場合は、減点 0 の多い者
 - エ 以上で決まらない場合は、抽選とする。
- (3) 準決勝、決勝戦は FEI 規程 238 条 2-1 による。

7. 失権者の減点算出は下記による。

- (1) 失権者の所要時間は、失権に至るまでの所要時間に係わらず当該コースの制限時間をその選手の所要時間とする。
- (2) 失権となった時点において残障害があった場合は、残障害 1 個について 20 点の減点を加算する。残障害とは、一度も飛越を試みない障害をさし、コンビネーション障害は、構成物の A、B、C それぞれを 1 個の障害として計上する。
- (3) 飛越を試みた障害で失権した場合は、その障害に 10 点の減点を加算する。
- (4) 失権に至るまでの過失点を加算する。
- (5) 失権となった選手に次の失権点を加算する。
 - スタートライン通過前に失権となった場合 60 点
 - スタートライン通過後フィニッシュライン到達までの間に失権となった場合 40 点
 - フィニッシュライン通過後に失権となった場合 20 点

8. 表彰

- (1) 個人表彰
 - 第 3 位までを入賞とし、表彰する。
- (2) 団体表彰

2 名以上の選手が出場する正会員団体が複数ある場合、それらの団体について団体表彰を行う。

 - 第 3 位までを入賞とし、表彰する。
- (3) 馬匹表彰
 - 最優秀馬匹賞 1 頭

9. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また、出場選手は、何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) 服装は FEI 規定を適用し、出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は容易に脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に 3 点以上で固定されたものでなければならない。チャップス等での出場は認められません。
また、安全のため、エアバッグ式ベストなどのプロテクターの着用を義務付ける。

- (3) 出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。
- (5) 拍車は、丸拍又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (6) 審判長が認めた場合を除き、上記(2)(5)に違反した場合、失権とする。
- (7) 準備運動は3分2飛越とする。拒止あるいは逃避が累計2回となった場合は、飛越1回分として扱う。クロス障害が設置されている場合はその飛越回数は除く。
- (8) 準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越はその都度罰金3万円を課す。
- (9) 1回戦および準決勝で敗退した選手は、競技役員としてその後の大会運営を手伝うこと。
- (10) 準備馬場および競技馬場において、馬のウェルフェアに反する行為が認められた場合、審判長の裁定により、当該選手の走行を中止させることがある。

以上